

令和5年度第2回見附市介護保険運営協議会・見附市地域密着型サービス
運営委員会・見附市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日 時：令和6年1月26日（金） 午後1時30分～午後2時10分

場 所：見附市保健福祉センター 2階 集団検診室

出席者：委 員（12名）

見附市老人クラブ連合会	理事	高井 三枝子
連合中越地域協議会見附地区支部	事務局長	五十嵐 厚
公募委員		小坂井 保子
公募委員		平瀬 明子
見附市南蒲原郡医師会	会長	山谷 春喜
見附市歯科医師会	理事	早川 智道
(福) 見附福祉会	業務執行理事	若井 和実
(福) 見附市社会福祉協議会	会長	星野 隆
見附市保健推進協議会	副会長	田中 明美
見附市民生委員		
・ 児童委員連絡協議会	民生委員・児童委員	磯部 和子
見附市市民活動・ボランティア 連絡協議会	会長	佐野 政秋
見附市健康サポートクラブ		下田 美代子

事務局

見附市健康福祉課	課長	小此鬼 明
	高齢福祉係長	青柳 充
	介護保険係長	椿 博子
	介護保険係主事	柴嶺 薫

欠席者：委 員（2名）

見附市商工会	参事	高橋 昭
えちご中越農業協同組合	見附西支店長	金安 暁美

1 開 会

(椿介護保険係長)

皆様お揃いですので、これより、令和5年度第2回見附市介護保険運営協議会・地域密着型サービス運営委員会・地域包括支援センター運営協議会を開会いたします。本日の進行役を務めます介護保険係の椿と申します。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして資料の確認をさせていただきます。本日お手元に次第、委員名簿、資料1を配布させていただきました。その他事前に配布しております介護保険事業計画の案をお持ちいただいたかと思えます。皆様資料はお揃いでしょうか。

それでは、不足がなければ、会を進めさせていただきます。

はじめに、健康福祉課長の小此鬼が開会の挨拶を申し上げます。

(小此鬼健康福祉課長)

皆様お疲れ様でございます。健康福祉課長の小此鬼です。

本日はお忙しい中、令和2年度第2回見附市介護保険運営協議会・地域密着型サービス運営委員会・地域包括支援センター運営協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は第9期保険料等についての案をご説明させていただきますので、委員の皆様からは十分ご審議くださいますようお願い申し上げまして、簡単ではありますが開会のご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞ宜しくお願いいたします。

(椿介護保険係長)

本日は高橋委員、金安委員から欠席の連絡をいただいております。

それでは、会議に入ります。会議の議事内容、会議資料につきましては、市の要綱に基づき市のホームページにて公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本協議会は「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、傍聴希望者がいる場合、傍聴を認めております。本日の会議の傍聴希望者はおりませんでしたのでご報告いたします。

それでは、星野会長から、議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(星野会長)

皆様ご苦勞様でございます。令和5年度の第2回の会議でございます。

議事の前に会議成立の確認を行います。本日は、14名の委員のうち、12名の委員が出席ということで、過半数に達していますので、本日の会議が成立していることをご報告いたします。

次に、議事録署名委員の指名ですが、今回は早川委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(早川委員)

はい。

2 議 題

(星野会長)

それでは、次第に沿って会議を進めてまいります。

2. 議題(1) 見附市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画素案について、事務局から説明をお願いします。

(椿介護保険係長・青柳高齢福祉係長)

資料1・素案により説明。

(星野会長)

ありがとうございました。なかなかボリュームのある説明でしたが、これについてのご意見、ご質問はございませんか。ご意見、ご質問がなければ、議題の(1)については事務局の説明のとおり承認するというところでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(星野会長)

それではそのように決定しました。

次に、議題の(2)今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

(椿介護保険係長)

次第により説明。

(星野会長)

それでは、これについてのご意見、ご質問はございませんか。ご意見、ご質問がなければ、議題の(2)については事務局の説明のとおり承認するというところでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(星野会長)

それではそのように決定しました。次に、(3)その他について、事務局からお願い

いします。

(椿介護保険係長)

1点お話をさせていただきます。第3回の介護保険運営協議会の日程ですが、3月5日(火)の13時半から行いたいと思いますので日程の調整をお願いいたします。なお、案内については後日郵送いたします。

(星野会長)

それでは皆様の方からご意見・ご質問はございませんでしょうか。

(小此鬼健康福祉課長)

私の方から少し補足説明させていただきます。第5章をご覧いただきたいのですが、計画の中で第5章が胆と思われますので説明させていただきます。

先程ご説明のとおり、高齢者人口については、令和7年がピークでそれ以降は徐々に減少していく傾向にあります。また、後期高齢者人口は令和12年度(2030年度)の7,849人がピークになります。次に令和22年度(2040年度)に高齢化率が40パーセントを超え、0歳~64歳の人口が激減する状況でございます。後半の2つについては10年間で見ているため数字の幅は大きいですが、このような傾向が顕著に出ており、今後制度を支える上でこの辺りが胆となると考えております。認定者数については2040年まで増え続けます。このように生産年齢人口が減り、後期高齢者、認定者が増えると当然保険料の値上げということになりますし、ともすると第1号被保険者の負担割合についても現在は23パーセントですが、これがどのようになるのか、今後の注視が必要な状況です。

また、それに伴いまして、介護従業者の深刻な人手不足がございます。かなり偏りがありますが、施設系についてはほぼ充足していますが、特に不足しているのが訪問系の訪問介護士及び訪問看護師、また各施設の看護師不足が今後かなり深刻になると考えております。その辺りをどうしたら良いのかについては9期のみならずその先も見据えた対策を取っていかなければならないと感じております。

また、もう一つの今回の計画の胆となります3章、地域包括ケアシステム体制の深化について、どれだけ深化できるのかというところが、まさに理念でもありますスマートウエルネスシティ、あるいは誰もが住み慣れた地域で健やかに最期まで生活していけるのか、また、その実現に向けてどれだけ適切な施策を打てるのかが非常に重要になると考えております。

先程申し上げましたが、今後2月28日までパブリックコメントを実施するので、委員の皆様におかれましても、それまでに意見をいただければ、皆様の意見を計画にできるだけ反映した上で、第3回の介護保険運営協議会にかけて正式決定をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(小坂井委員)

今程小此鬼課長からお話のありましたとおり、高齢化率が既に急激に上がっており、33パーセントを超えて深刻な状況になっております。住民としてできることとしてはボランティアがありまして、施設ボランティアについては既にシステムがありますが、訪問系についてはシルバー人材センターや社会福祉協議会のスマイルサポートもありますが、スマイルサポートの会員は20人程しかおらず、登録が少ない状況にあります。

全市ということとなると、よほど意識の高い人でないと登録してもらえないのが課題と考えており、その辺の住民の意識を今後高めていかないといけないのではないかと考えております。そのため、地域、コミュニティ単位、それより小さくても良いですが、町内の人を支えるために皆さんが参加できるような仕組み作り、無償ボランティアだとおそらく続かないと思うので継続性のある有償ボランティアの方が良いと思いますが、その仕組み作りをコミュニティに任せるのではなくて、組織としてコミュニティと連携して行うことができるものと考えてはどうかという提案なのですがいかがでしょうか。

(小此鬼課長)

貴重なご意見ありがとうございました。こちらとしても地域を挙げてという点で非常に重要性を感じておりますが、やはり相手がいることのため、これから研究ということになります。現在でも、施設系のボランティアに当たる介護支援ボランティアでポイントとして付与している部分もありますので、その辺りを施設だけではなく、在宅のサービスにもという意味でご提案いただいたことと思いますが、今後間違いなく考えなければならないこと、非常に大きな懸案であると考えております。

それを行うための市民の心を醸成するための施策をどう打つかが悩ましいところであり、正にそのとおりと思いながらお話を伺ってございました。

すぐにできることではないとは思いますが、常に頭の片隅に置き考えていきたいと思っております。

(星野会長)

それでは今後検討していただくということによろしいでしょうか。他に皆様の方からございませんでしょうか。

(山谷副会長)

資料を見ますと2040年には高齢化率が40パーセントを超える。石川県の珠洲市は50パーセントを超えている、新潟県の阿賀町は50パーセントを超えております。このような市で行われている施策で参考にできるものはありますでしょうか。

(小此鬼課長)

高齢化率が高い自治体の施策は参考せざるを得ないと思っております。ただ、見附市は新潟県内で高齢化率はちょうど平均であります。2040年と言いますとあと15年になりますのでこの辺りで何かしらの手を打たないと市としてやっていけないと考えています。先程のご意見を踏まえて、全てできるわけではないですが、財政状況を鑑みて、できることを積み重ねていくことが一番大切であると認識しています。貴重なご意見本当にありがとうございます。

(山谷副会長)

気候や風土など違いますので一概には言えないかと思いますが、ぜひ高齢化率の高い地域の施策で参考になるものがあれば教えていただければと思います。

(小此鬼課長)

ありがとうございました。研究してみます。

(星野会長)

他にご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

(委員)

異議なし

3 閉 会

(星野会長)

以上で予定していた案件はすべて終了いたしました。ありがとうございました。

(椿介護保険係長)

これをもちまして、見附市介護保険運営協議会を閉じさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上、見附市介護保険運営協議会規則第7条第2項の規定により署名する。

令和6年2月19日

会 長 _____

委 員 _____